第７回関西環境教育合同研究大会

環境教育の視点から防災・減災教育を再考する

主 催 ｜ 一般社団法人 日本環境教育学会 関西支部，関西環境教育学会
後 援 ｜ 和歌山県教育委員会，和歌山市教育委員会
協 賛 ｜ 和歌山信愛大学きょう育の和センター

2024.2.24 土

9:30～16:00　9:00～ 開 場
和歌山信愛大学 2号館

SDGs（持続可能な開発目標）は，2030年までに持続可能でより良い社会の実現を目指す世界指標であり，環境と調和した科学技術の開発や社会の発展のための目標です。自然や地球環境は，人間に対してさまざまな恵みを与えるだけでなく，時には自然災害という深刻な被害をもたらします。日本は昔から地震や暴風雨に襲われてきましたが，そこから防災・減災そして復興に関する教訓を得てきました。こうした自然災害への対応は持続可能な社会をつくるために必要であり，地球温暖化などの気候変動への対応にもつながります。現在の私たちの生活を維持しながら，世界の人々が未来にわたって地球上で安全に暮らし続けられる「持続可能な社会」を築いていくためには，防災・減災，復興を通して，自然や人，そして社会とのつながりを見いだしていくことが必要です。

そこで，第7回関西環境教育合同研究大会は「環境教育の視点から防災・減災教育を再考する」をテーマに掲げました。シンポジウムでは，「環境教育・ESD・SDGsと防災・減災・復興」についての話題提供，そして和歌山県での防災・減災教育の取り組みを踏まえて，学校現場での具体的な実践報告をしていただきます。さらにはこの実践をもとに大学での課題を報告していただきます。

一般研究発表では，現在さまざまな場で環境教育に取り組まれている皆さんからの研究発表を広く募集します。多くの方々のご参加をお待ちしています。

2023年10月1日

実行委員長 秋吉博之（和歌山信愛大学）

橋 杭 岩
和歌山県南部では，海溝型巨大地震による津波の被害を繰り返し受けてきました。串本町の橋杭岩周辺に見られる巨礫の位置や移動の年代の研究から，巨大津波の周期を解明し，予測に活用しようとする研究が行われています。

第７回 ● 関西環境教育合同研究大会 ● 環境教育の視点から防災・減災教育を再考する
● 会 期 2024年2月24日（土）9:30-16:00 ● 会 場 和歌山信愛大学（和歌山市住吉町1番地）

プログラム

9:00 大会受付
9:30 **一般研究発表**

12:00 昼食・休憩

13:00 **開会挨拶**
13:10 **シンポジウム**
「環境教育の視点から防災・減災教育を再考する」
【コーディネーター】 （敬称略）
秋 吉 博 之 和歌山信愛大学教育学部
【シンポジスト】
藤 岡 達 也 滋賀大学大学院教育学研究科
髙 橋 克 行 和歌山県教育庁学校教育局教育支援課 学校安全班
上 村 桂 和歌山県立熊野高等学校
荻 原 彰 京都橘大学発達教育学部

14:30 休 憩

14:40 **パネルディスカッション**
15:50 **総括・閉会挨拶**（16:00 終了）

17:00 懇親会（南海電鉄和歌山市駅周辺 予定）

参 加 費

一般・大学院生 …… 2,000円
和歌山県内公私立の園小中高教職員 …… 1,000円
大学生・専門学校生・高校生 …… 無 料
懇親会への参加費は別料金となります。

参加申込方法

参加登録期限 **2月10日（土）**

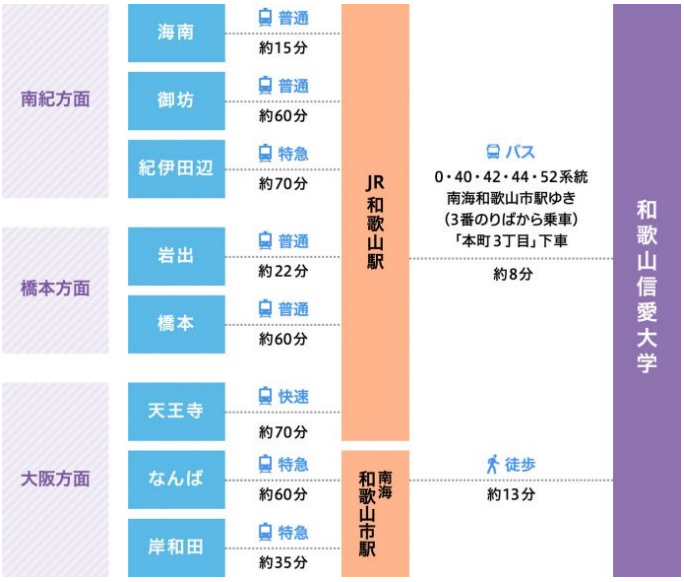
参加人数把握のため，事前の参加登録をお願いしておりますが，当日参加も可能です。下記URLより必要事項をご記入の上，参加お申込みをお願いいたします。

https://forms.gle/CUyP9U8eBK99N71g8

研究発表申込方法

発表申込期限 **12月24日（日）**

1報告あたり30分（発表20分，質疑応答10分）を基本とします。発表者，所属，連絡先，発表タイトル，共同発表者 等を，上記の参加申込フォームより，**12月24日まで**にお申込みください。要旨集は各報告２頁（Ａ４）で組みます。発表要旨（Ａ４用紙 ２頁）は，**1月31日（水）**に提出締切になります。



交通アクセス

南海本線 和歌山市駅より徒歩 約 13分，ＪＲ紀勢本線 紀和駅より徒歩 約 12分，ＪＲ阪和線 和歌山駅よりバス 約 8分，自家用車で来場する場合は，大学南側にある和歌山市営 本町地下駐車場（有料）をご利用ください。

関西環境教育合同研究大会実行委員会 事務局
e-mail ee.kansai@gmail.com fax 078-431-1022 http://www.ee-kansai.com/wp/